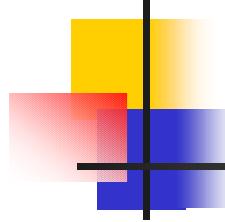


グラフ理論 #7

第7回講義 6月6日

情報科学研究科 井上純一

http://chaosweb.complex.eng.hokudai.ac.jp/~j_inoue/



Cayleyの定理とその証明 #1

n 点の異なるラベル付き木の総数は n^{n-2} 個である

Cayleyの定理

(証明)

準備 : $\deg(v) = k - 1$ の点 v を含むラベル付き木 : A

$\deg(v) = k$ の点 v を含むラベル付き木 : B

n 個の点からなるラベル付き木のある点の次数が k
であるものの総数を $T(n, k)$ とする

証明のポイント:

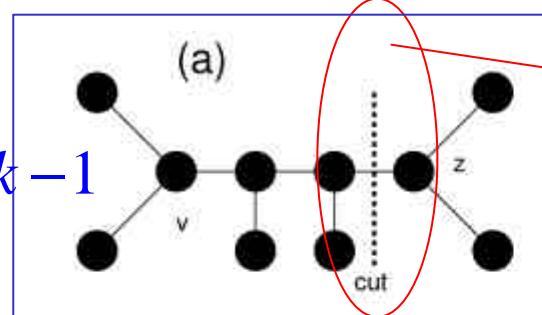
「ラベル付き木 A から ラベル付き木 B を作る連鎖の総数」
= 「ラベル付き木 B から ラベル付き木 A を作る連鎖の総数」

という条件式から $T(n, k)$ を導く

Cayleyの定理とその証明 #2

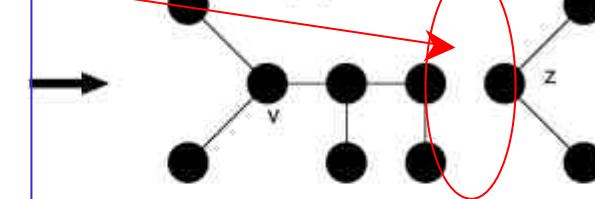
連鎖 A B :

$$A : \deg(v) = k - 1$$

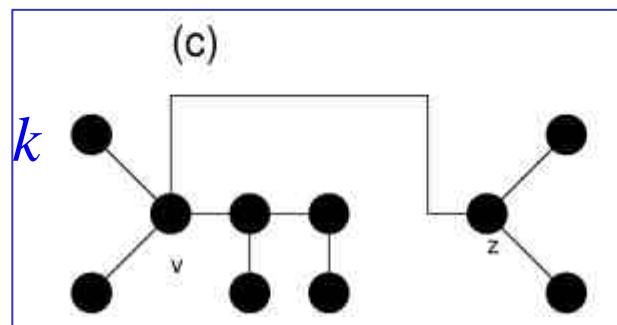


Aをvに接続していない辺で分離する

(b)



$$B : \deg(v) = k$$



分離した端点のうち、
点vを含まない方の点z
を点vとつなげる

切断する辺の選び方 : (点vに接続しない辺の選び方) = (木Aの辺数) - (点vの次数)

$$= (n-1) - (k-1) = n-k$$

(連鎖 : $A \rightarrow B$ の総数) = $\frac{T(n, k-1)(n-k)}{A \text{の総数}}$

Cayleyの定理とその証明 #3

連鎖 $B \setminus A$:

部分木 T_i の点数を n_i とすると

$$n-1 = \sum_{i=1}^k n_i$$

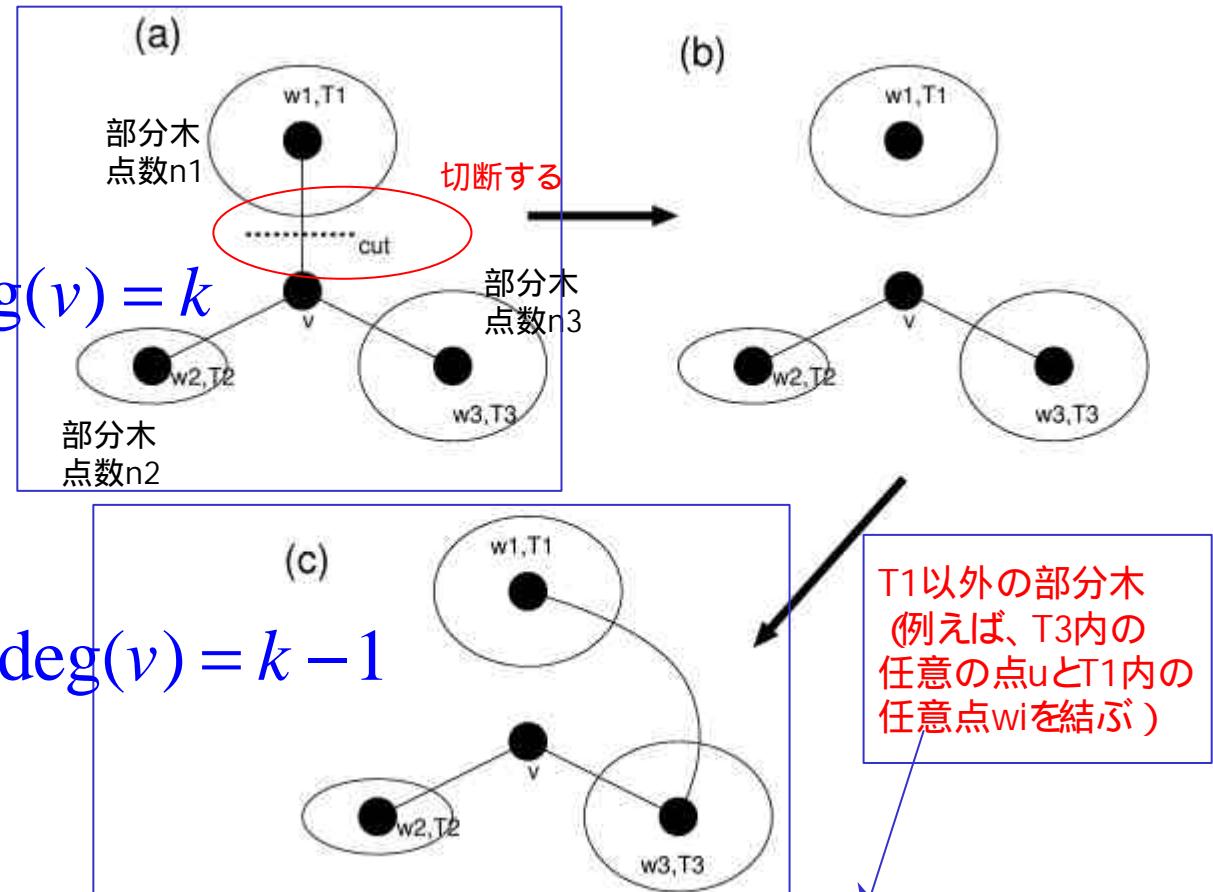
点 v 以外の点数

連鎖 $B \setminus A$ の総数
B の総数

$$T(n, k) \sum_{i=1}^k (n-1-n_i)$$

$$= T(n, k)(n-1)(k-1)$$

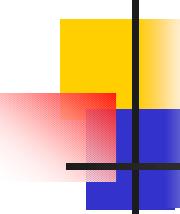
$$B : \deg(v) = k$$



$$A : \deg(v) = k-1$$

T1以外の部分木
(例えば、T3内の
任意の点 u と T_1 内の
任意点 w_i を結ぶ)

$$(点 v を除く点数) - (\text{部分木 } T_i \text{ に属する点数}) \\ = (n-1) - n_i \quad (\text{通り})$$



Cayleyの定理とその証明 #4

[連鎖 : A → B の総数] = [連鎖 : B → A の総数] とおくと

$$(n-k)T(n, k-1) = (n-1)(k-1)T(n, k)$$

$k=n-1, n-2, n-3, \dots$ を書き出してみると → 定義より1である

$$T(n, n-2) = T(n, n-1)(n-1)(n-2)$$

$$T(n, n-3) = \frac{1}{2}(n-1)^2(n-2)(n-3)$$

$$T(n, n-4) = \frac{1}{3!}(n-1)^3(n-2)(n-3)(n-4)$$

これを一般化し $k=k+1$ のとき

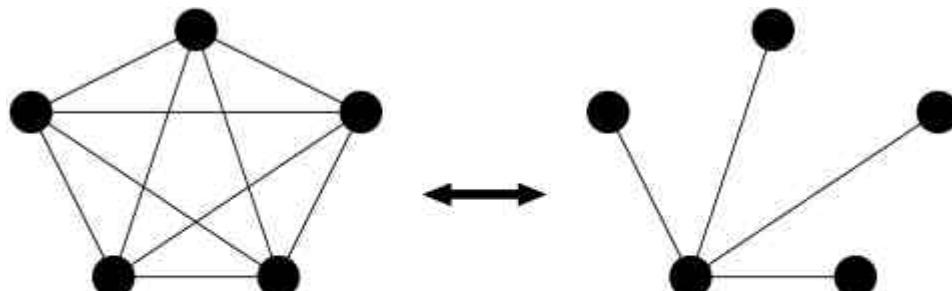
$$T(n, k) = \frac{(n-1)^{n-k+1}(n-2)}{(k-1)(k-2)\dots} = {}_{n-2}C_{k-1}(n-1)^{n-k-1}$$

Cayleyの定理とその証明 #5

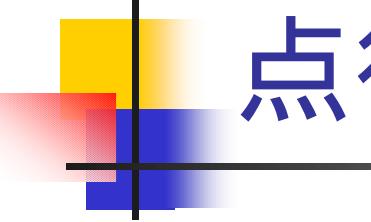
求めるラベル付き木の総数は

$$T(n) = \sum_{k=1}^{n-1} T(n, k) = \sum_{k=1}^{n-1} {}_{n-2}C_{k-1} 1^{k-1} (n-1)^{(n-2)-(k-1)} = \{(n-1)+1\}^{n-2} = n^{n-2}$$

系: 完全グラフ K_n の全域木の総数は n^{n-2} である



K_5 点数nのラベル付き木は完全グラフ K_n に一对一に対応する



点行列と行列木定理

グラフGの点行列： \mathbf{D}

$$D_{ij} = \begin{cases} \text{点} v_i \text{の次数} & (i = j \text{のとき}) \\ -(\text{点} v_i \text{と点} v_j \text{を結ぶ辺数}) & (i \neq j \text{のとき}) \end{cases}$$

このとき、グラフGの全域木の本数は点行列の任意の余因子で与えられる

$$t(G) = (-1)^{i+j} |\mathbf{D}(\bar{i}, \bar{j})|$$

行列木定理の適用例

例題16

隣接行列Aが

$$A = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{pmatrix}$$
 で与えられるグラフGの全域木の総数 $t(G)$ を求めよ

このグラフGの点行列は

$$D = \begin{pmatrix} 2 & -1 & -1 \\ -1 & 2 & -1 \\ -1 & -1 & 2 \end{pmatrix}$$
 なので

$$t(G) = \begin{vmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{vmatrix} = 4 - 1 = 3$$

